

代官庭自治会 自治会長 稲本 全宏

代官庭という地名は、織田信長など有名な戦国武将が生まれた頃の16世紀前半にこの地に移住し開発にあたった「福田九人衆」のひとり「保田筑後の守」の屋敷があったことから名付けられたようです。

当自治会は福田六丁目、代官一・二丁目の三地区で構成されており、西は南庭、東南は千本桜、北東は新道下の各自治会、北は広大な厚木飛行場、渋谷西地区の最北端に位置していて会員は約700世帯です。

小学校区は福田小学校ですが中学は引地台中学校が学区のため、福田北地区や中央地区との交流が多いのも特徴のひとつです。

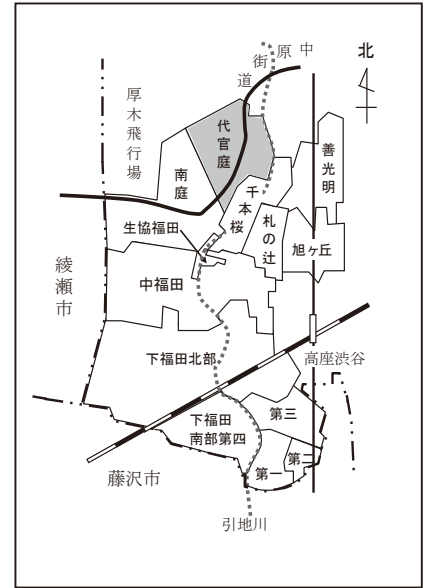
もうひとつの特徴は小企業が多いことです。最近では知らぬ間に小さな工場が更地になり一戸建てや、しゃれたアパートに代わってきています。若い人の世帯が増えているのですが自治会加入勧誘には苦戦しています。最近の若者は地域との関わりをあまり歓迎していないように思われます。

さて、自治会活動ですが安心・安全のための防犯・防災活動、街並みや公園の清掃、住民同志が親睦をはかる盆踊りや田中八幡宮の祭礼時のお神輿の渡御など各種イベントを積極推進しています。最近、スポーツの奨励と子供会との綿密な情報交換により若

い会員のイベント参加の促進に成功しつつあります。

また、他の自治会ではやっていないと思われる小正月の行事『どんど焼き』を当自治会は地元消防団のご協力のもと数年前から実施しています。おいしい“お汁粉”を用意しています。どうぞ代官2丁目公園にお越し下さい。(今年の開催日は1月12日(月)を予定しています)

駅、買い物、病院等どこへ行くにも急坂を上り下りしなくてはならない不便なこの地区に「郵便ポストの新設」や「コミュニティバスの乗り入れ」を行政に働きかけ、お年寄りや体の不自由な人にやさしい街づくりを目指すのも自治会の重要な仕事のひとつとして日夜活動をしています。



がっこう
下福田水辺の楽校『憩いの広場』完成

水辺の楽校は川で遊ぶ機会の少ない子ども達のために、引地川に安全で楽しい水辺の空間を造り、川遊びの体験を通して健やかに成長することを目的に平成15年に下福田地域の団体や個人の賛同を得て発足しました。平成17年には国土交通省より「下福田水辺の楽校プロジェクト」として認定を受けました。

このたび、若宮橋から福田橋までの850mの水辺の楽校のメイン整備工事の「憩いの広場」が福田橋隣接上流の右岸に完成し、平成26年11月29日には完成セレモニーを開催しました。

当日はあいにくの雨天でしたが、広場での記念式典の後、下福田会館での祝賀会では大和市長はじめ多くの来賓、関係団体、地元の皆様のご出席のもと盛大に完成を祝いました。



編集後記

「街のトピックス」の自治会の紹介は、今回が最終回となりました。13自治会が地域づくりのための活動と誰もが暮らしやすい福祉のまちづくりを目指す社協の思いを、高齢者が増えつつある現在「福祉の心と更なる支え」を共に協力し進めたいものです。今年は無(ひつじ)年。未来の(未)に託し、幸多い年でありますよう希望します。



編集：渋谷西地区社会福祉協議会広報担当
発行：渋谷西地区社会福祉協議会
〒242-0024 大和市福田611-1
コミュニティセンター下福田会館内
電話 046-268-1577
印刷：県央福祉会「ワークス桜舎」